

## 5 平成29年度特別講義一覧

### はじめに

特別講義は、学生の皆さんが幅広い教養・素養を身につけ、卒業後各方面で最大限に能力を発揮できるようになることを目的として開講します。本学の専門分野の教育は充実しており、その内容・成果に十分な自信を持っていますが、それに加えて、教養面での教育を重視する意味で、様々な内容による特別講義を開講します。

平成29年度の特別講義は、専門教育を補完し、社会に出て役立つ、さらに就職試験にも役立つ多分野の教養的講座として厚木キャンパスでは1コース、世田谷キャンパスでは7コースを開講します。

なお、特別講義(一)～(四)は開講時間が重ならなければ複数履修することができ、上級学年になってからでも履修することができます。

### ●厚木キャンパス開講コース 特別講義

### ●世田谷キャンパス開講コース 特別講義

- A コース 国際活動実践論 ―海外現場事情―
- B コース 源流大学 ―源流域で源流学を学ぶ― 体験基礎コース
- C コース 源流大学 ―源流域で源流学を学ぶ― 体験応用コース
- D コース バイオテクノロジーと生活
- E コース バイオテクノロジーと食品
- F コース 公開講座を聴く ―現代を生きる幅広の教養を―
- G コース 世田谷6大学コンソーシアム連携授業「ビジネスモデル論」

### ●コース別開講目的 ＜厚木キャンパス＞ 特別講義

＜コーディネーター 農学部長・バイオセラピー学科 教授 小川博＞

これからの農学は、専門性を越えて、他の領域を取り込んで新たな体系化を図ることや、遺伝子から地球環境にいたるまで幅広い視点から課題を解決することが要求されている。この講義は、農業生産や人との関わりへの貢献等、農学領域で注目される動植物や微生物の力に焦点をあて、動植物の能力、その活用やつながりなどについて幅広く展開する。

### ＜世田谷キャンパス＞

#### A コース. 国際活動実践論 ―海外現場事情―

＜コーディネーター 国際農業開発学科 教授 入江憲治＞

国際的な活動を行うには、海外活動の現場で惹起する様々な問題への実践的な対応力を持つことが必要である。本講義では、その実践力の向上に必要な資質を備えることを目的に、社会の様々な分野で活躍する方々を講師に迎え、「国際協力」、「農業」、「開発」をキーワードに、国内外における苦勞、苦心、喜怒哀楽などの体験談や、海外活動に対する実践的な技術、知識、手法を教授し、併せて国際活動を奨励し、国際的な視野で活躍する人材の育成を図る。

#### Bコース. 源流大学 ―多摩川源流域で源流学を学ぶ―体験基礎コース

＜コーディネーター 地域創成科学科 教授 宮林茂幸＞

このコースは、本学が多摩川源流域の山梨県小菅村で行っている「多摩川源流大学」プロジェクトに参加し、講義と体験実習をとおして源流域の自然や文化を学ぶ。学内において源流域の自然や文化を学ぶ講義を受講しながら、学んだことを実際に現地で体験実習することで、内容を確認し自らのものにするを目的としている。また、体験実習では小菅村の住民の方々を講師に迎え、森林整備活動として間伐や枝払い、農地での開墾や野菜の栽培、その他郷土食料理調理実習など様々な実習を通して現地の知恵を中心に学んでいく。なお、実習は小菅村だけでなく、岩手県一関市、福島県鮫川村等でも行い、流域や農山村に関わる幅広い知識の獲得と体験を行う。これらをとおして農山村の現状を学び地域問題の理解と解決能力の向上を養う。

## Cコース. 源流大学 —多摩川源流域で源流学を学ぶ—体験応用コース

＜コーディネーター 地域創成科学科 教授 宮林茂幸＞

このコースは、多摩川源流域の山梨県小菅村にある「源流大学」で、昨年基礎コースを修了した学生を対象に、実習を行う。このカリキュラムでは最終実習での村民へ向けた発表会にむけて、1年間専門的に農業、林業など自分の興味があるコースを選択し学ぶことができる。例えば源流域の森林管理や整備に関する基本的な森林調査や、また、源流域の農業体験では、地形的にも、規模的にも厳しい条件にあり、そうした中で、手の労働による農業技術、加工技術等を学ぶ。より深く源流文化に触れ、将来地域に入って活躍できる人材を育成する。

## Dコース. バイオテクノロジーと生活

＜コーディネーター 分子微生物学科 教授 新村洋一＞

本講義は、バイオテクノロジーが生活環境を多面的に支える現状を基礎から応用まで理解することにより、快適な生活環境作りの基礎知識を得ることを目的とする。

現在、バイオテクノロジーは各種微生物の応用技術、植物育種、環境エネルギー改善の基礎技術として発展しており、私たちの生活基盤を根本から支えている。多様なバイオテクノロジーを構成する各項目について本学の専門教員が基礎知識を平易に解説し、各教員が関与する専門分野にも言及する。

授業は講義形式で行い、対応分野の専門教員が部分的に授業を担当する形式となる。

## Eコース. バイオテクノロジーと食品

＜コーディネーター 食品安全健康学科 教授 阿久澤さゆり＞

本講義は、バイオテクノロジーが食生活を多面的に支える現状を基礎から応用まで理解することにより、健康な食生活への基礎知識を得ることを目的とする。

現在、バイオテクノロジーは快適な食生活維持の基礎技術となっている。本講義では、基礎技術の中心となっている食品分析、食材改良技術、生体内反応解析、安全性解析の各事項について本学の専門教員が基礎知識を平易に解説し、各教員が関与する専門分野にも言及する。

授業は講義形式で行い、対応分野の専門教員が部分的に授業を担当する形式となる。

## Fコース. 公開講座を聴く —現代を生きる幅広い教養を—

＜コーディネーター 副学長・国際農業開発学科 教授 夏秋啓子＞

東京農業大学で専門分野を学ぶことの重要性は言うまでもないが、社会人、地球人としてより良く生きるためには、視野を広くもち、幅広い教養を身につけることが大切である。この特別講義 F コースでは、社会で活躍するゲストスピーカーをお招きし、それぞれのご専門に基づき、多様な分野における知識や考え方についてお教えいただくことを目的とする。この特別講義は公開講座とし、東京農大生だけでなく、一般の方々の聴講も認めることにする。公開講座形式にすることで、東京農大生は、講演を聞くに相応しいマナーを再確認するとともに、一般の方々と交えた活発な質疑応答に積極的に参加することが期待される。

## Gコース. 世田谷6大学コンソーシアム連携授業「エネルギー資源科学」

＜成城大学 教授 海保英孝＞

本講義は、世田谷 6 大学コンソーシアム協定大学(国士舘大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京農業大学、東京都市大学)間において、それぞれの大学の特色ある授業科目を他大学において開講するものである。本学では、平成 29 年度の世田谷 6 大学コンソーシアム連携授業として、成城大学の海保英孝教授による「ビジネスモデル論」を開講する。(平成 29 年度のみ開講)

ネット社会の深化にともない、「ビジネスモデル」(儲ける仕組み)に注目が集まっている。モノ・サービスを「仕組み」で売り、持続的かつ独占的な地位を確立するというのがその意図ですが、果たしてその目的は容易に達成されるものなのか。本講義では、さまざまなビジネスモデルの事例を批判的に研究する中で、ビジネス(商売)の本質について、学生諸君と一緒に考えていくことを目標とする。

## 特別講義(世田谷キャンパス開講)の履修登録について

履修する場合は、次のA～Gコースの中から受講するコースを選び履修登録すること。

| コース  | 学期     | 曜日/時限 | 科目名                         | 教員     | 教室  | 備考                        |
|------|--------|-------|-----------------------------|--------|-----|---------------------------|
| Aコース | 通年     | 木 5～6 | 国際活動実践論 -海外現場事情-            | 入江憲治   | 441 |                           |
| Bコース | 集中(通年) | 水 5   | 源流大学 -源流域で源流学を学ぶ- 体験基礎コース   | 宮林茂幸   | 142 |                           |
| Cコース | 集中(通年) | 火 5   | 源流大学 -源流域で源流学を学ぶ- 体験応用コース   | 宮林茂幸   | 112 | ※第一回目は4/12<br>142教室でガイダンス |
| Dコース | 前学期    | 水 5   | バイオテクノロジーと生活                | 新村洋一   | 242 |                           |
| Eコース | 前学期    | 水 5   | バイオテクノロジーと食品                | 阿久澤さゆり | 342 |                           |
| Fコース | 前学期    | 木 5～6 | 公開講座を聴く -現代を生きるための幅広い教養を-   | 夏秋啓子   | 百周年 |                           |
| Gコース | 後学期    | 水 4   | ビジネスモデル論(世田谷6大学コンソーシアム連携授業) | 海保英孝   | 231 |                           |

### 【注意事項】

開講曜日・時限が異なれば1年間に2コース以上の履修が可能です。なお、履修登録単位は年間・各学期の履修制限単位数に含まれます。

下表にもとづき履修登録をしてください。

はじめて「特別講義」を履修する場合は「特別講義(一)」を履修登録し、順次(二)・(三)・(四)を履修登録してください。

|     |         | Aコース        | Bコース        | Cコース        | Dコース        | Eコース        | Fコース        | Gコース        |
|-----|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|     |         | 木 5～6       | 水 5         | 集中          | 水 5         | 水 5         | 木 5～6       | 水 4         |
| 学部生 | 特別講義(一) | <b>4163</b> | <b>4248</b> | <b>4252</b> | <b>4413</b> | <b>4423</b> | <b>4158</b> | <b>4433</b> |
|     | 特別講義(二) | <b>4166</b> | <b>4251</b> | <b>4255</b> | <b>4416</b> | <b>4426</b> | <b>4161</b> | <b>4436</b> |
|     | 特別講義(三) | <b>4164</b> | <b>4249</b> | <b>4253</b> | <b>4414</b> | <b>4424</b> | <b>4159</b> | <b>4434</b> |
|     | 特別講義(四) | <b>4165</b> | <b>4250</b> | <b>4254</b> | <b>4415</b> | <b>4425</b> | <b>4160</b> | <b>4435</b> |